



週報第23号 令和7年1月30日発行



「国立国会図書館デジタルコレクションより」

横浜鶴見北ロータリークラブ

【事務局】横浜市鶴見区佃野町 18-11 エトワール鶴見 303号

TEL 045-575-1821 FAX 045-575-1822

Email ytnclub@gmail.com

HP <https://www.rotary-tsuruminorth.jp/>

【例会】毎週木曜日 12:30 場所 新横浜グレイスホテル

会長／生方常明 副会長／佐久間務 幹事／松田啓

第2429回例会 令和7年1月23日

斉唱 「手に手つないで」

会長報告

週報の表紙（1月20日号）について。静岡市の日本平から眺めた富士山である。

ここしばらく気になることがあるので沼津へ行った、そのついでに下の娘を久能山にイチゴ狩りに連れていき、山の上で撮ったものが表紙の写真である。

気になることというのは江原素六という人物と米山梅吉との関係である。その気分を知りたく『江原素六記念館』の別称をもつ『沼津市明治史料館』を訪問した。

江原素六は私が卒業した麻布学園の創立者だが、彼は大政奉還により徳川氏とともに静岡に移った旧幕臣のひとりである。米山梅吉の著作に『幕末西洋文化と沼津兵学校』というものがあるが、この学校の創立に関わった人物でもある。司馬遼太郎の『花神』という作品では戊辰戦争に参加した幕臣の一例として一節を割かれている。貧しい旗本であった江原素六は学問とくには兵学で身を立てようとしており、江戸における「彰義隊戦争」に先立つ「市川船橋の戦い」では不本意ながら

（江原は徳川氏に勝ち目はないだけでなく内戦は外国を利すると考える非戦の立場であった）幕府側一隊を率いて官軍と戦っている。この江原素六の沼津兵学校が米山梅吉が通った沼津中学校の前身であり、米山が入学した時期（1881/明治14年入学～1883/明治16年退学）の校長は江原（1882 明治15年辞任）であった。沼津を離れて以降も江原素六は公私また静岡東京に関わらず各種学校の創設に携わり、前述の司馬作品では「後世の知名度になるとひどく小さいのは、かれがおこした学校が中学校という小規模なものだった」と

して福沢諭吉・新島襄・津田梅子と同列に評されている。

米山梅吉という人物に江原素六の教育が影響を与えたとするならば、それは幕末武士階級の教養と自由民権という思想と明治期キリスト教の国際性と考えてよさそうである。

創立記念日

増田 泰成 会員（1月27日）

委員会報告

【今井新一郎会員】

・会報掲載記事について

出席報告

会員総数	33名
今回暫定	22 / 33 = 70.96%
前々回確定	21 / 33 = 65.62%

ニコニコBOX

クラブ会員の為、敬称略

生方 常明 本年は暦の都合で2/2が節分です。総持寺さんのポスターは2/3のままなので世間的には豆まきが2日続けてとなりそうです。

松田 啓 渡辺さん、保険の話楽しみにしています。同じ保険でも厚生年金になるとなぜかみんな「元が取れない」と言い出すのはなんなのでしょうね。

渡辺 直昭 本日はよろしくお願いいたします。人前で話すのは、大大嫌いですので。

上澤摩壽雄 記念日の皆様おめでとうございます。渡辺さん卓話ご苦労様です。

仲亀 晃央 本日の卓話の渡辺さん、保険のからくり色々と勉強になりますので楽しみにしております。

松阪 脩平 渡辺さん昨今の保険事情とても興味がありますので拝聴させていただきます。

祝 康一 同じ業界として興味のあるお話ありがとうございます。

中西 美里 増田さん創立記念日おめでとうございます。牧井さん入会記念日おめでとうございます。

増田 泰成 創立記念日をお祝い頂きありがとうございます。

赤塚 一志 各記念日の皆様おめでとうございます。渡辺会員の卓話心して拝聴いたします。

以下同内容の為お名前のみ（敬称略）

上原良廣 上村政二 今井新一郎 藤林直美
鈴木元一郎 合谷保爾 田邊勝久 晝間勝
石渡宏衛 野村清司 牧井秀賢 天野直樹

卓話

「保険のからくり」



渡辺 直昭 会員

活動予定

4月 3日（木）創立記念例会（夜間）

例会予定

2月 6日（木）新横浜グレイスホテル

2月13日（木）休会

2月20日（木）新横浜グレイスホテル

2月27日（木）新横浜グレイスホテル